

「神様との垂直な関係」

申命 10:12 ~ 10:22

■ 聖霊に満たされるとは

人生の中で「出会い」というのは大きな祝福です。なぜなら聖霊に満たされた人や教会とかかわるときにより影響を受けることがあるからです。神様が私たちに与えてくださった祝福を悟ることもまた、祝福です。私たちは聖霊に満たされることをよく祈りますが、聖霊に満たされるとはどのようなことでしょうか。聖霊に満たされると、私たちの心にどのような変化が起こるのでしょうか。

① 喜び・「神様がくださる喜び」

これは何か条件的な喜びではなく、天から神様がくださる霊的な喜びが私たちの心に満たされるということです。それは、どのような状況の中でも神様の祝福というのは流され続けます。川が流れるように流されていきます。だから私たちが神様から恵みを受けると川のようにほかの人にも祝福が流れる通路となれるのです。しかし、私たちはうれしいときには喜べますが、そうでないときは喜ぶことが難しいのです。「いつも喜んでいなさい。」(1テサ 5:16) この「喜ぶ」の原語には「出会い」という意味が含まれています。では私たちは、誰と出会うときにどのような状況の中でも喜べるようになるのでしょうか。イエス様と出会うときです。イエス様と出会うとき「条件的な喜び」ではなくなるのです。どのような状況の中でも、神様、イエス様と出会うことによって約束を握りしめてその状況に打ち勝つ喜びを知ることができるようになるのです。環境や状況はいくら祈ってもそのままのこともあります。変わるのはいくら祈ってもそのままだけです。そのような状況が恐れではなくなるのです。これが「聖霊充滿」という状態です。充滿とは「支配される」ということです。このような状況では他を見ることができませぬ。ただ「イエス様」を見るだけなのです。

② 感謝

今、自分の周り(家庭・職場など)で感謝が減っているようなことはないですか。感謝の言葉が出ないときは練習でもしなくてははいけません。なぜなら、神様と近くにいるときにはどんな状況でも感謝があふれるからです。どのような状況の中でも神様が守り導いてくださるということを信じる人は感謝があふれるのです。でも私たちの口から否定的な言葉があふれそうになることがあります。そういう時はしっかりとくちびるを握りしめる必要があります。間違った言葉が出てしまったらその言葉を拾うことはできないからです。

③ 平安

「志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。その人があなたに信頼しているからです。(イザヤ 26:3) 平安はどこからくるのでしょうか。神様を信頼するところからくるのです。「忠誠」という言葉がありますがこの原語には「心が分かれないうような状況」という意味があります。つまり最後まで一つの道を生き続けるということです。心がバラバラになってしまうといろいろな道に行ってしまう可能性があるのですが、そういう人は真実な道を歩むことができません。神様が自分に与えてくださったビジョンをしっかりと抱いて、神様だけに信頼してまっすぐに行く人を「真実な人」と呼ぶことができます。こういう人に「平安」を与えるといっています。世が与えることができない平安です。神様はいろいろな状況の中で私たちに訓練されます。私たちの心には広い部分もあれば、非常に狭い部分もあり、そこに触れられると爆発してしまうようなことがあります。私たちにみんな強い部分も弱い部分もあり、神様は私たちの「弱い部分」を苦難や試練を通して広くされようとしているのです。

私たちの人生の中には苦しいことがあります。また人に誤解をされる苦しみや、一生懸命頑張っても思ったほどの結果が出ないこともあります。そういう時にも喜びがありますか? そういう時に、私たちの心の痛みを正直に神様に捧げるときに、私たちに聖霊様を送ってくださり感謝があふれ始めるのです。自分が解決しようとするのだめなのです。こういうことを通して神様は私たちに「成長」させてくださるのです。今あなたの心に傷や痛み、虚しさはありますか。私たちの神様は、そのような弱さに見ることを通してでも、ほかの人を理解し愛し、励ますことができる心を与えてくださる方です。

人を理解するとは understand と言います。つまりその人の下に立たせていただくということです。人を見たときにもちろん外見は見えますが、

その人の下に何があるかはわかりません。人は傷や痛みは下のほうに隠すので私たちが下に立つことによって初めて見え始めるのです。だから神様は私たちに「謙遜になりなさい」と言われます。神様の恵みの川が一番低いところに流れます。神様の恵みを経験したいのであれば一番低いところに立つ必要があります。

■ 垂直的な教会になるために

ハーベストバプティストチャーチという教会があります。18人で始めた教会ですが今は1万3千人の大きな教会になりました。この教会ははじめ、横のつながりを大切にされた水平的で「人」中心な牧会をしました。それを通して人々が癒され成長していきました。しかしそれは時間がたつにつれて限界がきてしまいました。牧師やスタッフが全力でやってもできる限界がきてしまったのです。そこで水平的な牧会をあきらめました。そして始めたのが「垂直的な教会」です。「垂直」つまり神様をまずは見るということです。神様のために誰かを探し、神様がつかんでくださるから進んでいく人生ということです。そして神様が与えてくださる使命があれば自分の思っていたことはあきらめてそれに従うことができます。これが「垂直的」ということです。水平的な関係は人と人の関係はよくなるけれど、心のどこかに虚しさがあります。しかしそこから垂直的つまり神様の観点で人々や自分の傷などを見始めるとあるものが見えます。「十字架」です。イエス様の犠牲が見え始めたのです。神様は水平的な関係の前に垂直的な神様との関係を大切にしてくださいと言っています。これは簡単ではありません。そして垂直的な教会を作るうえで難しいことは、世的な栄光がかかわってくるということです。たとえば誰かに何かをしたとき、神様がくださるなぐさめや愛、そして神様への感謝もありますが、心のどこかで「自分がやった」という自分の栄光、「ほめてもらいたい」という欲望が湧いてくるのです。私たちは「ありがとう」と言われると満たされてしまうのです。神様がされていると思っているけどなにか「自分が前に出る」という要求が出てくるのです。しかし垂直的な関係はイエス様だけなのでそういうものがなくなります。そうなるとう聖霊様がだまっていられなくなり本当のリバイバルがおきます。変化が起きます。勇気が起こります。なぜなら聖霊様の働きはイエス様を証する働きだからです。だから私たちの人生はイエス様と一緒に生きる人生なのです。イエス様だけをあがめる家庭、イエス様だけを中心にする教会になるようにする必要があります。そうすると「リバイバルを与えてください」という祈りはいりませぬ。おのずとそうなるからです。垂直的な教会をたて上げる4つの柱があります。

① 礼拝

聖霊様に満たされ、御言葉がいき、イエス様のみなだけがあがめられる礼拝を捧げていくのです。自分を目だたせようとする人生が変わり、人間中心でなくなるのです。

② 祈り

祈りとは「神様、私にはできません」とすべてをゆだね、頼りなさげのものです。方法ではありません。心の姿勢が大切です。

③ 世の中に妥協しない

システムが教会を動かすのではありません。聖霊様が動かし、人をたて、感動を与えてくださるのです。牧師に、宣教師に、伝道師に、とにかく神様に仕えたい・・そういう思いは聖霊様が与えてくださるのです。

④ 行動する教会(従順)

ビジョンが語られたとき、ある人は心配、ある人は無関心、ある人はあの人のほうが上手にできると逃げ人もいます。しかし、神様は犠牲のある献身を通して働かれます。献身があるところには必ず「犠牲」があります。私たちの健康も、時間も、才能も、影響力も、若さも神様に捧げましょう。私たちは短い人生を生きるものです。その中で聖霊様がしっかりと握って導いてくださいます。すると私たちは神様との垂直的な関係をもつものとして世の中に影響を与えることができるのです。神様は私たちのことを一人ひとりの賜物によって用いてくださいます。だから私たちは人々を批判のする前に理解する必要があります。よく理解すると誤解がなくなります。

垂直的な教会にしていきたいと思います。聖霊に支配される教会にしていきたいと思います。イエス様を愛する教会にしていきたいと思います。そして誰よりも謙遜になる教会にしていきたいと思います!!

(要約者:岩崎祥誉)

(2018年7月29日)